

(臨床研究に関するお知らせ)

2010年に和歌山県みなべ町で健康診断を受診された方へ

和歌山県立医科大学 内科学第二講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

胃粘膜の萎縮度と血中中性脂肪・コレステロール値の関連性に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 内科学第二講座 助教 桑島史明

3. 研究の目的

今までの研究でヘリコバクター・ピロリ菌に感染すると血中中性脂肪値やコレステロールが上昇することが示唆されてきました。2020年にはメタ解析により、ヘリコバクター・ピロリ感染がLDL-C・総コレステロール・中性脂肪値を上昇させ、HDL-Cを低下させることが報告されています (Takeshi Shimamoto et al. “The association of *Helicobacter pylori* infection with serum lipid profiles: An evaluation based on a combination of meta-analysis and a propensity score-based observational approach” PLoS One. 2020 Jun 8;15(6):e0234433. doi: 10.1371/journal.pone.0234433. eCollection 2020.)。

本研究では、健康診断の血液検査結果を用いヘリコバクター・ピロリ菌の感染と血中中性脂肪値・コレステロールの相関関係の有無を検討することとしました。

4. 研究の概要

(1) 対象となる方

2010年に和歌山県みなべ町で健康診断を受けられた方[梅の実摂取習慣の胃食道逆流症 (Gastroesophageal Reflux Disease:GERD)にあたる影響の検討 でデータを集計させて頂いた方]

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、以下に関する情報です。

- ① 背景因子 (問診表に記載頂いた内容、年齢、性別)
- ② 採血検査結果

(3) 方法

当院、単施設による後ろ向き観察研究

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術

雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

資金源は内科学第二講座 講座研究費です。

利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学 内科学第二講座 担当医師 桑島史明

TEL : 073-441-0627

FAX : 073-445-3616

E-mail : kuwasima@wakayama-med. ac. jp